令和８年度　ごみステーション美化活動等に関する表彰対象者

区名	表彰者	活動内容	審査写真
中央区	仁戸名拓美会　新ごみステーション建設実行委員会	生涯大学校地域活動外房会と連携し、カラス被害撲滅・環境美化などを目的に活動されています。ごみステーションの移設・新設を行った結果、カラス被害やポイ捨てなどの課題を解決しました。また、ごみステーションの運用説明会を5回にわたって行ったほか、これに関するチラシを配布するなどして分別・排出ルールの順守に向け取り組まれています。	
中央区	新田町町会	木製のごみ集積箱を生涯大学地域活動外房会と連携し製作し、維持管理を行いました。また、設置にともないごみステーションの利用方法のチラシを作成し回覧・説明会を行ったほか、外国語でのごみ出しルールの掲示を行い、分別・排出ルールの順守に向け尽力されました。	
若葉区	千城台西町自治会	輪番制による清掃や防鳥ネットの活用、警告板設置や行政との連携により、ごみ集積所の美化とカラス被害・不法投棄の大幅な減少を実現されました。また、回覧や戸別訪問を通じてごみ出しルールの徹底を図り、資源ごみ収集日の周知や啓発活動によって、ごみ減量と再資源化の推進にも継続的に取り組まれています。	
緑区	たかだの森ニュータウン自治会	自治会役員が33か所のごみステーションを毎回巡回し、破損修繕やカラス被害対応などに迅速に対応し美化を維持されています。また、未回収ごみには独自の啓発を行うことで多くが再分別・再排出され、意識向上の成果を上げている。さらに、ゼロ・ウェイストの啓発や住民参加の清掃活動を通じて、ごみ削減と地域美化推進に向け取り組まれています。	
稲毛区	藤田　正明	可燃ごみ収集日に、ごみステーションの整頓清掃と排出方法を指導されてきました。また、集団回収の趣旨および予定表を掲示することにより理解・協力を促したほか、啓発文書の配布・回覧・掲示を行うなど美化や分別排出ルール遵守に向けて尽力されました。	
若葉区	宍倉　成子	野生動物などによる散乱やそれに伴う清掃の負担が課題でしたが、全世帯に設置の賛同を得て工事のためのメンバーを募るなどし、ステーションに囲いを設置し散乱被害を解消されました。また、ごみの排出日はステーションの見回りを行い、適正排出の指導にも取り組まれています。	
緑区	尾崎　周三	不法投棄の多いごみステーションへの看設置とパトロールはもとより、地域清掃や花壇の整備などの環境美化を実施することで不法投棄の再発防止に取り組まれています。	